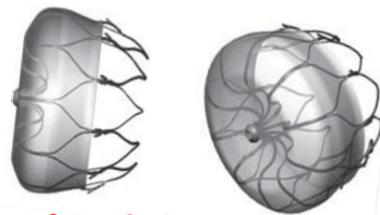


# 循環器内科よりご案内



2021年1月より

## 左心耳閉鎖術を

## 開始しました!!

時下益々ご清祥のことと、お慶び申し上げます。また、日頃よりたくさんのご紹介をいただき感謝申し上げます。

この度、**心房細動患者さんの塞栓症管理において、内服に代わる新たな治療**を開始することとなりましたので、ご案内いたします。

これまで、薬剤以外での塞栓症予防への介入は左心耳結紮やクリッピングなどの外科的処置が必要でしたが、新たに**経カテーテル左心耳閉鎖術**が2019年2月より、本邦でも実施できるようになりました。

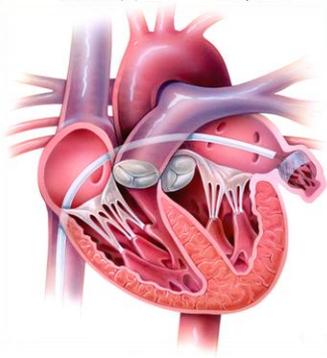
神奈川県内では、**認定施設は6施設あり**（2020年12月現在）**横浜市内では当院が最初の認定施設**となります。

脳梗塞に代表される様々な心原性塞栓症は、患者さんのQOLを著しく低下させ、重度の場合には死亡に至ることもあります。そのため、心房細動患者さんを管理していく上では、至適な抗凝固療法による塞栓症予防は重要な役割を担っています。

しかし、出血性合併症を併発されたために、抗凝固療法を中止せざるを得ない状況となることも少なからずご経験されるかと思えます。

**経カテーテル左心耳閉鎖術**は大腿静脈から挿入したカテーテルを用いて、**WATCHMAN™**と呼ばれる閉鎖デバイスで左心耳に蓋をする治療で、血栓が遊離することを防ぎ、抗凝固療法を継続できない症例でも塞栓症を予防することが可能となります。

つきましては、心房細動の御加療中の患者さんで、出血性合併症などで抗凝固療法の継続が難しい方や塞栓症を繰り返されている方がおられましたら、当科外来へお気軽にご紹介いただきますよう、お願い申し上げます。



国家公務員共済組合連合会  
横浜南共済病院

循環器内科 (WATCHMAN™ 担当医師)

部長 鈴木 誠  
医長 萬野 智子  
医長 島田 博史